

株式の状況 (平成19年3月31日現在)

株式数および株主数

発行可能株式総数	64,680株
発行済株式総数	19,500株
株主数	1,047名

大株主

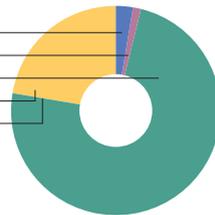
	持株数	持株比率
株式会社アルゴグラフィックス	9,900株	50.8%
セイコーインスツル株式会社	4,080株	20.9%
ジーダット従業員持株会	811株	4.2%
日本証券金融株式会社 (業務口)	260株	1.3%
岩崎 泰次	220株	1.1%
大阪証券金融株式会社 (業務口)	215株	1.1%
石橋 眞一	150株	0.8%
松井証券株式会社 (一般信用口)	108株	0.6%
株式会社エスケーエレクトロニクス	90株	0.5%
株式会社図研	90株	0.5%
大日本印刷株式会社	90株	0.5%
凸版印刷株式会社	90株	0.5%

株主メモ

上場市場	JASDAQ
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	3月31日
株式の売買単位	1株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
同取次所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店及び全国各支店
公告掲載方法	電子公告とし、次の当社ホームページに掲載します。 (http://www.jedat.co.jp/) ただし、事故その他やむを得ない事由により、電子公告を することができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

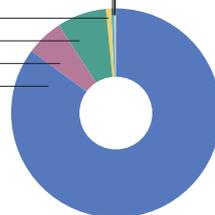
所有者別状況

金融機関	511株	2.62%
証券会社	244株	1.25%
その他国内法人	14,390株	73.80%
個人・その他	4,353株	22.32%
外国法人等	2株	0.01%



所有数別状況

1,000株以上	2名	0.19%
500株以上	1名	0.10%
100株以上	5名	0.48%
50株以上	8名	0.76%
10株以上	80名	7.64%
5株以上	60名	5.73%
1株以上	891名	85.10%



株式会社ジーダット

事業報告書

第5期

平成18年4月1日 ▶ 平成19年3月31日



証券コード：3841





社名の **JEDAT** は
Japan EDA Technologies の略です。
私たちは、日本のEDAのリーダーとして、
電子産業の発展に貢献したいと考えています。

EDA とは
Electronic Design Automation の略です。

電子機器や電子部品の設計作業を支援、検証するソフトウェア（電子系CAD）で、
設計作業には不可欠なツールであり、設計期間の短縮や設計品質の向上を実現します。

CONTENTS

ご挨拶／事業概要.....	2	事業紹介.....	3	グローバルな事業展開.....	4
業績の概要.....	5	連結財務諸表.....	7	製品紹介.....	9
会社概要／役員.....	10				

HP&IRサイトご紹介

URL <http://www.jedat.co.jp/>
IRサイト http://www.jedat.co.jp/ir_infor/index.html

当冊子に関するお問合せ先

株式会社ジーダット 経営企画部
E-mail : corporate.planning1@jedat.co.jp

ご挨拶

EDAの技術革新で社会に貢献して参ります。



代表取締役社長
石橋 眞一

株主の皆様におかれましては、ますます
ご健勝のこととお喜び申し上げます。

この度、当社は平成19年3月15日、ジ
ャスダック証券取引所に上場いたしました。
これもひとえに、皆様のご支援の賜
物と心より感謝申し上げます。

当社は、セイコーインスツル株式会
社のEDAシステム事業部が3年前に分離独立
した会社ですが、セイコーインスツル時
代を含めると20年以上にわたり、半導
体や液晶等の設計を支援するCADソフト
ウェア（EDA）を開発・販売して、多く
のお客様にご愛顧頂いて参りました。現
在、日本が得意とする情報家電や自動車
向けの電子部品や液晶パネル等の設計に

フォーカスした製品をご提供し、日本企
業としての強みを発揮しております。

省エネ、性能、画質、コストなど、電
子機器や電子部品に対して社会から要求
されるハードルは今後もますます高くな
って参りますが、当社はこれらを実現す
るために技術革新に確実に応えし、よ
り価値のあるEDA製品および設計環境を
ご提供し続けることで、社会に貢献して
参りたいと考えております。

どうか今後ともご理解とご支援の程、
よろしくお願い申し上げます。

平成19年6月

事業概要

LSI、FPD、磁気ヘッド、CCD、MEMS等の電子部品を対象とした、電子設計用
CADソフトウェア（EDA）の開発、販売、サポートを行う。

特にアナログIC、ドライバIC、メモリ等のカスタムLSIや、液晶パネル設計向けに
フォーカスしている。

事業紹介

ジードットの先進的な電子設計用CAD (EDA) は、LSIや液晶パネルなどの最先端電子部品の設計を強力に支援しております。

「電子機器とEDA」

例えば、皆様が日常お使いの携帯電話には、たくさんの最先端電子部品が集積されています。

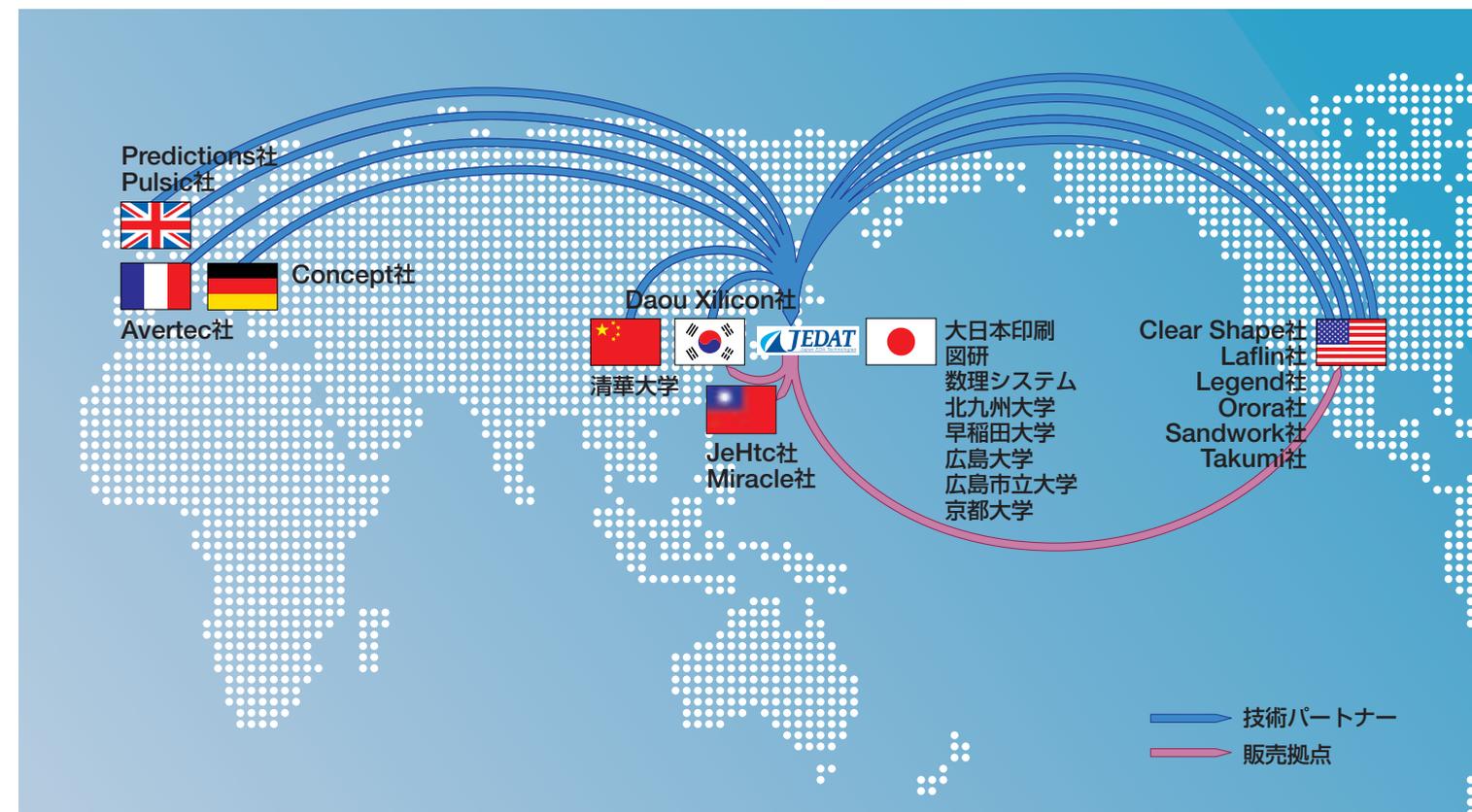
携帯電話は、多機能化（カメラ、テレビ、音楽プレーヤ、GPS、電子マネー etc.）、小型化（薄型化）、大容量化、高速化、低消費電力化、画面の大型化、そして画質、音質の向上…と凄まじいスピードで進化しています。

こうした電子機器の進化は、電子回路設計者に対して高品質や高性能ばかりでなく、開発期間の短縮や独創的なアイデア、技術革新などを絶えず求め続けています。

EDAは電子回路設計に不可欠なソフトウェアツールであり、設計生産性を大幅に高め、設計成果を高速に検証することで、電子回路設計者を強力に支援し、創造性発揮の機会を広げます。



グローバルな事業展開



敬称略、順不同

当社のお客様に対して最良の設計環境を提供するために、特定分野で高い技術力を保有し、当社のEDA製品を補完する製品を持つ国内外の企業と、技術提携または代理店契約の締結を行っております。

また、さらにこれらの設計環境を海外でも販売するため、海外の販売拠点（代理店）の拡張も進めております。

業績の概要

増収・増益を達成

当社企業グループの主要な顧客である半導体ならびに液晶等の製造業は、国際的な厳しい価格競争のあおりを受け依然厳しい環境下にありましたが、全体的には再び積極的な設備投資を展開する局面もみられ、当社企業グループの業績としては順調に推移して、前連結会計年度に対して増収・増益となりました。

主な活動内容としては、今後の事業を継続的に発展させていくために、主力製品である「 α -SX」シリーズの機能強化を最優先課題とし、中国の開発子会社である績達特軟件（北京）有限公司を始めとして開発体制のさらなる強化を推し進めました。この「 α -SX」を核に、半導体カスタム設計分野、液晶等のFPD（Flat Panel Display）設計分野にフォーカスすることで、各種自動系の機能の強化をはかりました。顧客企

業との協業の効果もあって、設計期間短縮を実現いたしました結果、売上増につなげることができました。新規市場であるDFM（Design For Manufacturability）分野につきましても、自社開発製品CMPシミュレータの運用立上げ、さらには新しくClear Shape社製品の導入により市場開拓を推し進めた他、産学連携プロジェクトへも積極的に参画し新技術の蓄積に努めました。

以上の結果、売上高経常利益率も13.9%と10%以上の利益率を確保することができました。当連結会計年度の売上高は、20億95百万円（前年同期比14.2%増）となり、営業利益は2億7百万円（前年同期比45.2%増）、経常利益は2億90百万円（前年同期比57.1%増）、当期純利益は1億89百万円（前年同期比52.3%増）となりました。

FPD市場、DFM市場で製品売上を大きく伸ばし、サービス売上も順調に推移

製品売上高は12億75百万円（前年同期比20.1%増）となりました。

売上高増加の主な理由としては、主力製品「 α -SX」シリーズの機能強化による製品価値が向上したことで、半導体市場、液晶等のFPD市場とも順調に売上を伸ばしたことがまずあげられます。特に、FPD市場につきましても液晶向け光学シミュレータExpertLCD（Daou Xilicon社製）や高精度抵抗計算ツールFineAcresの投入で統合設計環境が強化されたことにより、大手顧客を中心に増設が進み、同市場におけるディファクトスタンダードの地位を確固たるものにしました。さらに中国・韓国等の海外市場の新規開拓が進み、大きく売上を伸ばしました。

DFM市場につきましても、ブラウザであるHOTSCOPE（大日本印刷社製）の拡販が海外市場も含めて進み、当連結会計年度より新たに販売を開始したプロセスのバラツキ考慮によるホ

ットスポット解析ツールInShape（Clear Shape社製）の順調な立上げ等もあり、売上に大きく貢献いたしました。

サービス売上高は8億19百万円（前年同期比6.0%増）となりました。これは主に、既存製品シリーズから「 α -SX」シリーズへの移行が順調に進み、保守契約の契約更新が加速したことによるものであります。

自社開発製品、代理販売製品の区分で見ると、自社開発製品による売上高は17億84百万円（前年同期比8.2%増）、代理販売製品による売上高は3億11百万円（前年同期比66.4%増）となりました。

半導体市場、FPD市場の区分で見ると、半導体市場における売上高は11億94百万円（前年同期比4.5%増）、FPD市場における売上高は9億円（前年同期比30.1%増）となりました。

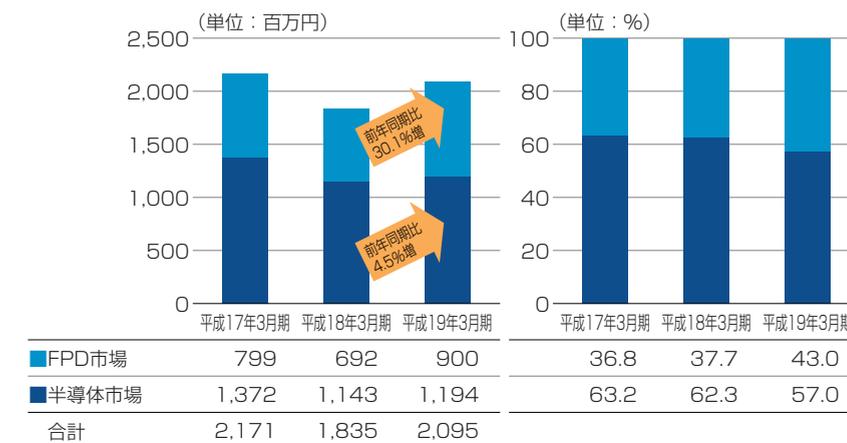
製品/サービス別売上



自社開発製品/代理販売製品別売上



半導体市場/FPD市場別売上



連結財務諸表 (平成18年4月1日～平成19年3月31日)

連結貸借対照表

			(単位:千円)		
科目	当連結会計年度 (平成19年3月31日)	前連結会計年度 (平成18年3月31日)	科目	当連結会計年度 (平成19年3月31日)	前連結会計年度 (平成18年3月31日)
資産の部			負債の部		
流動資産	① 2,488,051	1,126,701	流動負債	502,825	368,808
現金及び預金	1,917,379	617,838	買掛金	138,798	120,444
受取手形及び売掛金	481,186	420,806	未払法人税等	101,965	69,757
たな卸資産	17,104	23,045	賞与引当金	82,359	69,321
繰延税金資産	42,527	34,132	その他	179,701	109,285
その他	29,854	30,879	負債合計	502,825	368,808
固定資産	310,576	334,758	純資産の部		
有形固定資産	21,364	17,305	株主資本	② 2,293,304	1,090,952
無形固定資産	78,477	145,159	資本金	760,007	253,339
営業権	—	143,600	資本剰余金	890,558	383,890
のれん	71,800	—	利益剰余金	642,738	453,721
ソフトウェア	6,677	1,559	評価・換算差額等	2,497	1,698
投資その他の資産	210,733	172,293	為替換算調整勘定	2,497	1,698
投資有価証券	—	2,000	純資産合計	2,295,802	1,092,651
長期貸付金	8,250	10,564	負債純資産合計	2,798,627	1,461,459
繰延税金資産	146,310	111,403			
その他	56,172	48,325			
資産合計	2,798,627	1,461,459			

① 流動資産

流動資産の増加は、主に現金及び預金が第三者割当増資及び株式上場に伴う公募増資等により増加したこと、ならびに受取手形及び売掛金が増加したことによるものであります。

② 株主資本

株主資本の増加は、主に資本金及び資本剰余金が平成18年9月の第三者割当増資及び平成19年3月の株式上場に伴う公募増資により増加したこと、ならびに利益剰余金が当期純利益によって増加したことによるものであります。

連結損益計算書

			(単位:千円)	
科目	当連結会計年度 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)	前連結会計年度 (自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)		
売上高	2,095,540	1,835,705		
売上原価	622,047	551,392		
売上総利益	1,473,492	1,284,312		
販売費及び一般管理費	1,266,267	1,141,550		
営業利益	207,225	142,762		
営業外収益	95,680	44,252		
営業外費用	11,914	1,739		
経常利益	③ 290,991	185,274		
税金等調整前当期純利益	290,991	185,274		
法人税、住民税及び事業税	145,276	92,190		
法人税等調整額	△43,302	△31,048		
当期純利益	189,016	124,132		

連結株主資本等変動計算書

	株主資本				評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	株主資本合計	為替換算調整勘定		
					為替換算調整勘定	評価・換算差額等合計	
平成18年3月31日残高	253,339	383,890	453,721	1,090,952	1,698	1,698	1,092,651
連結会計年度中の変動額							
新株の発行	506,667	506,667		1,013,335			1,013,335
当期純利益			189,016	189,016			189,016
株主資本以外の項目の 連結会計年度中の変動額(純額)					799	799	799
連結会計年度中の変動額合計	506,667	506,667	189,016	1,202,351	799	799	1,203,151
平成19年3月31日残高	760,007	890,558	642,738	2,293,304	2,497	2,497	2,295,802

③ 経常利益

営業外収益の増加は、主に研究開発助成金を計上したことによるものであります。営業外費用の増加は、主に上場関連費用が発生したことによるものであります。その結果経常利益は、前年同期比57.1%の増加となりました。

連結キャッシュ・フロー計算書

			(単位:千円)	
科目	当連結会計年度 (自平成18年4月1日 至平成19年3月31日)	前連結会計年度 (自平成17年4月1日 至平成18年3月31日)		
営業活動によるキャッシュ・フロー	④ 319,032	42,643		
投資活動によるキャッシュ・フロー	△24,977	△13,278		
財務活動によるキャッシュ・フロー	⑤ 1,004,686	105,998		
現金及び現金同等物に係る換算差額	799	1,698		
現金及び現金同等物の増減額(減少△)	1,299,540	137,062		
現金及び現金同等物の期首残高	617,838	480,776		
現金及び現金同等物の期末残高	1,917,379	617,838		

④ 営業活動によるキャッシュフロー

営業活動の結果得られた資金は、主に税金等調整前当期純利益やのれん償却により、3億19百万円となりました。

⑤ 財務活動によるキャッシュフロー

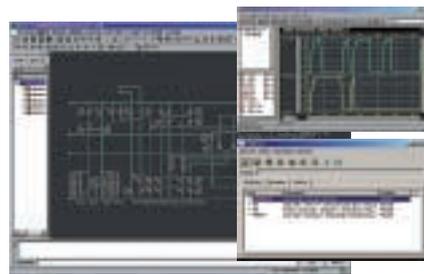
財務活動の結果得られた資金は、主に平成18年9月の第三者割当増資ならびに平成19年3月の株式上場に伴う公募増資により、10億4百万円となりました。

製品紹介

当社が提供しているEDA製品群の中核となるのは「 α -SX」です。回路設計ツール「Asca」、レイアウト設計ツール「Ismo」をはじめとして、さまざまな検証ツール群、自動設計ツール群、液晶パネルなどの微細パターン設計ツール群、マスク検証ツール群などから構成されます。さらにパートナー企業の製品を補完的に組み合わせることで、強力な設計環境を提供しております。

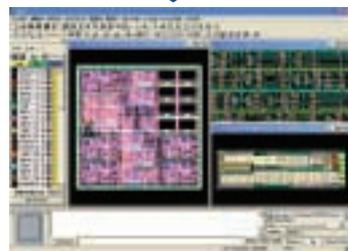
以下に主な製品についてご紹介いたします。

回路設計工程



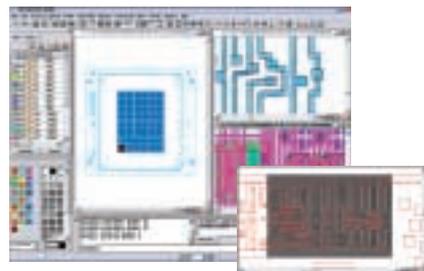
Asca	回路設計・デバッグ統合設計環境
WLModeler	配線寄生効果のモデリング
Dessin	シンボリックフロアプランナ
Arsyn	アナログ回路合成ツール (米: Orora社)
HiTas	静的タイミング解析ツール (仏: Avertec社)

レイアウト設計工程



Ismo	レイアウト設計・デバッグ統合設計環境
Coulom	回路制約自動抽出ツール
Proton/Laplace	プロトタイピング/デバイス自動生成ツール
Amper	会話型自動素子配置ツール
Rexsir	高密度自動配線ツール
FineArts	液晶等の微細パターン向けエディタオプション

DFM分野



HOTSCOPE	大規模データ対応DFMブラウザ (日: 大日本印刷)
InShape/OutPerform	ホットスポット解析ツール (米: Clear Shape社)
Takumi Enhance/HSF	ホットスポット自動解消ツール (米: Takumi社)
CMP-Designer	CMPシミュレータ

■ 自社開発製品「 α -SX」 ■ 自社開発製品 ■ 代理販売製品

会社概要/役員

会社概要 (平成19年3月31日現在)

商号	株式会社ジードット (Jedat Inc.)
所在地	〒103-0024 東京都中央区日本橋小舟町6-6
代表者	代表取締役社長 石橋 真一
営業開始	平成16年2月2日
資本金	760,007,110円
事業内容	電子回路・半導体集積回路・液晶モジュール等設計支援のためのソフトウェア開発・販売およびコンサルティング
関連会社	株式会社ジードット・イノベーション (Jedat Innovation Inc.) 〒808-0135 福岡県北九州市若松区ひびきの2-5 情報技術高度化センター TEL 093-695-7130 FAX 093-695-7135 績達特軟件(北京)有限公司 (Jedat China Software Inc.) 北京市西城区新街口外大街28号B座409-412室 TEL +86-10-82053480 FAX +86-10-82053483 URL http://www.jedat-soft.com.cn
所属団体	社団法人 電子情報技術産業協会 (JEITA) 社団法人 日本半導体ベンチャー協会 (JASVA) 有限責任中間法人 日本エレクトロニクスショー協会 (JESA) 日本EDAベンチャー連絡会 (JEVeC)

役員 (平成19年6月20日現在)

代表取締役社長	石橋 真一
取締役	増山 雅美 (経営企画部長)
取締役	藤岡 督也 (EDA営業技術部長)
取締役	香月 弘幸 (システム部長)
社外取締役	藤澤 義麿 ((株)アルゴグラフィックス 代表取締役社長執行役員)
社外取締役	斎藤 成一郎 ((株)アルゴグラフィックス 取締役常務執行役員)
社外取締役	新保 雅文 (セイコーインスツル(株) 代表取締役社長)
常勤監査役	飯村 雄次
社外監査役	吉田 隆男 (財団法人新世代研究所 専務理事)
社外監査役	伊藤 俊彦 ((株)アルゴグラフィックス 執行役員)